

ヨハネ  
第一

②

血を流し、  
血を通わされた  
主イエスの愛

ヨハネの手紙第一 2章

神の愛の関係性

# アウトライン

## 0. イントロダクション

I. 神のことば 1:1~8

II. 愛か憎しみか 1:9~11

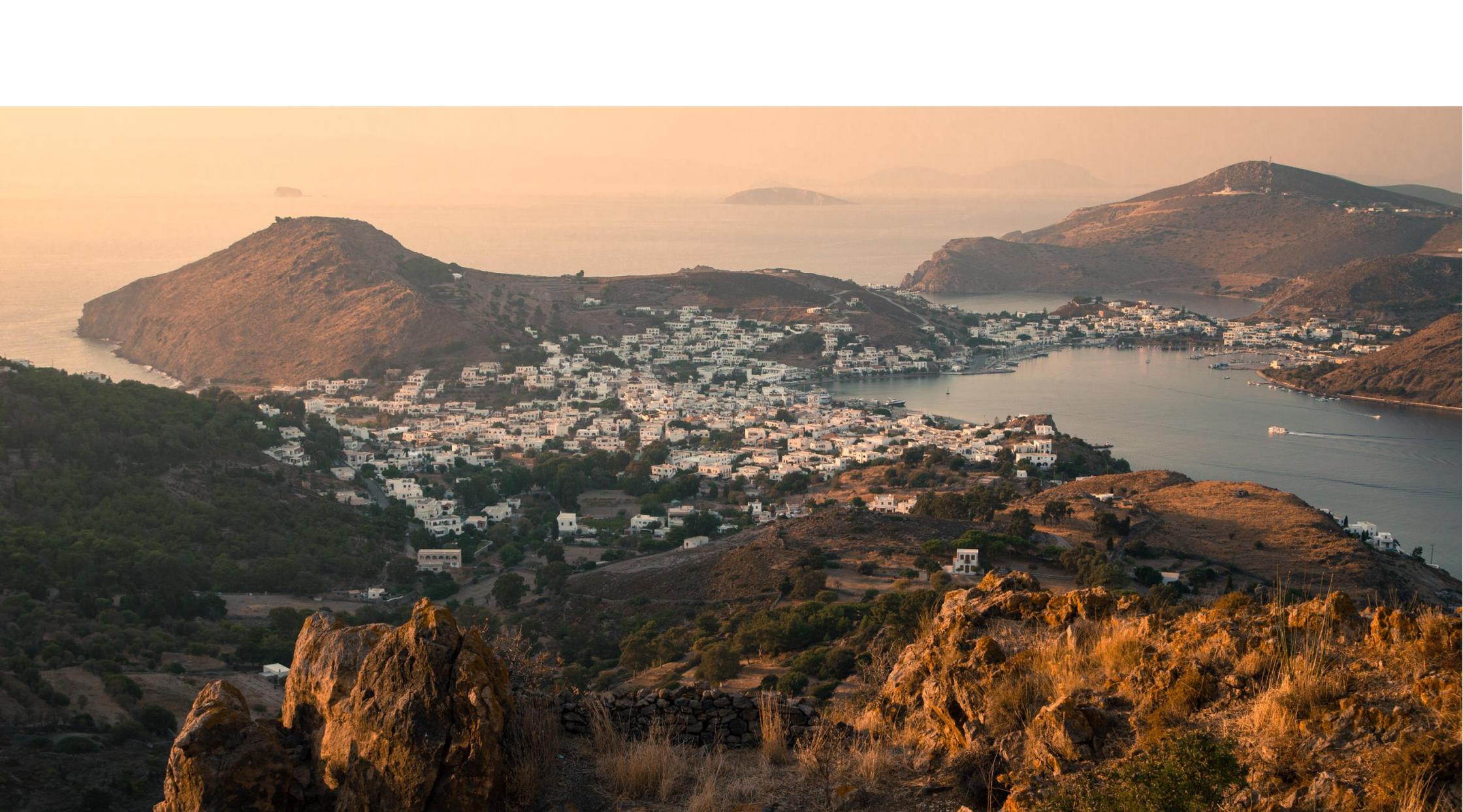
III. 執筆の根拠 1:12~14

## IV. まとめと適用

血を流し、通わされた

主イエスの愛



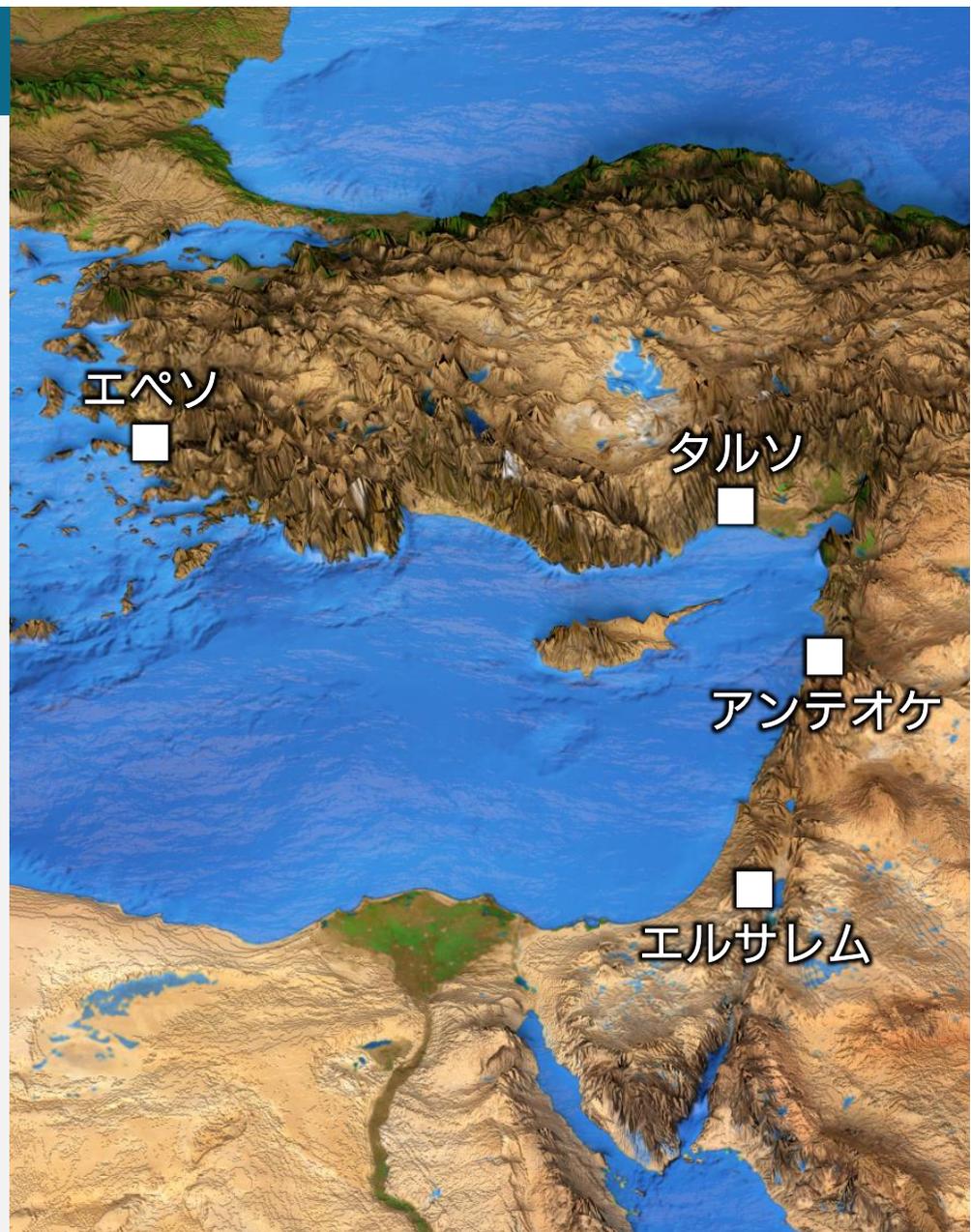


# I. イントロダクション

パトモス島

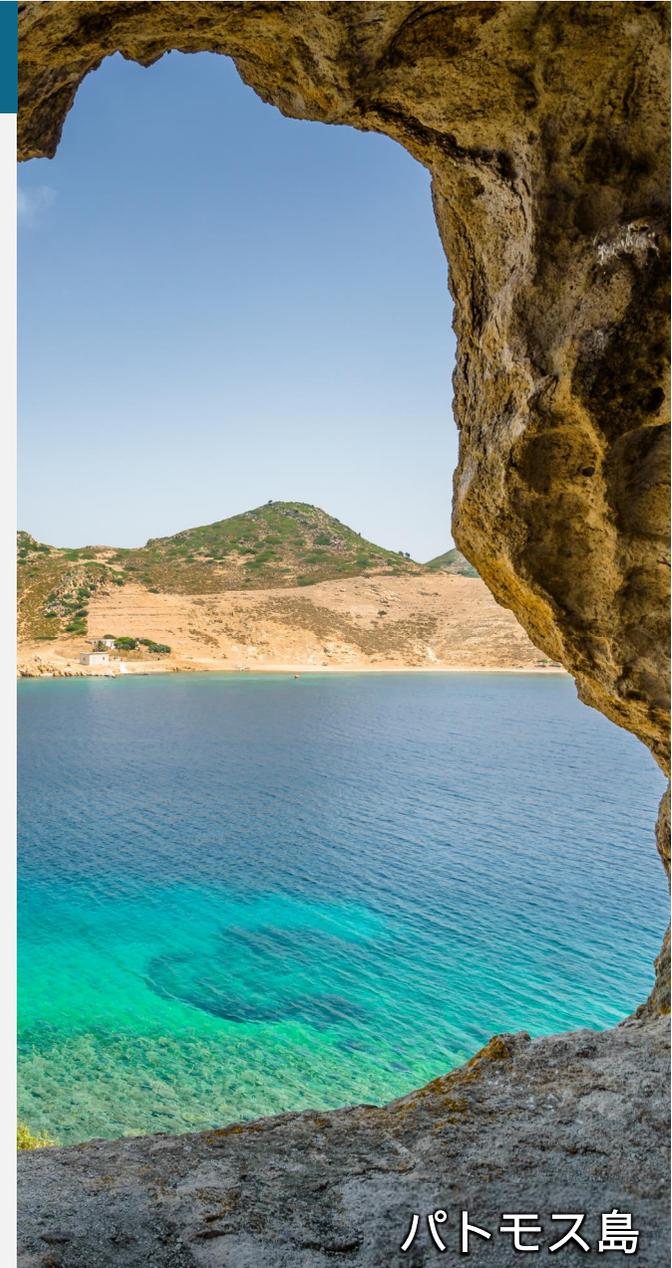
## ヨハネの手紙第一とは？

- 著者 …不記載。使徒ヨハネ？！
- 宛先 …小アジアの教会？！
- 執筆時期 …80年頃？！  
エルサレム陥落後
- 特徴 …ヨハネ福音書と共通  
主はことば。光と闇の戦い
- 目的 …異端(グノーシス)の警告  
教会への励まし



## ヨハネとは？

- 父はゼベダイ。兄はヤコブ。カペナウム出身。12使徒。最年少。ペテロと双璧のリーダー。ペテロ、ヤコブと山上で栄光のイエスを目撃。
- イエスの愛称は、「雷の子」。兄弟で左右の座を要求し、メシアに叱責。イエスの母マリアを義母に(ヨハネ19:26)。母もイエスの弟子。復活の主を目撃。
- 教会初期は、ペテロと共に宣教活動。兄ヤコブは最初の殉教者に。晩年、流刑地のパトモスで、黙示録を記す。



パトモス島



**I. 神のことば**      ヨハネの手紙第一      2:1～8

## 目的 とりなしの主 | ヨハネ2:1

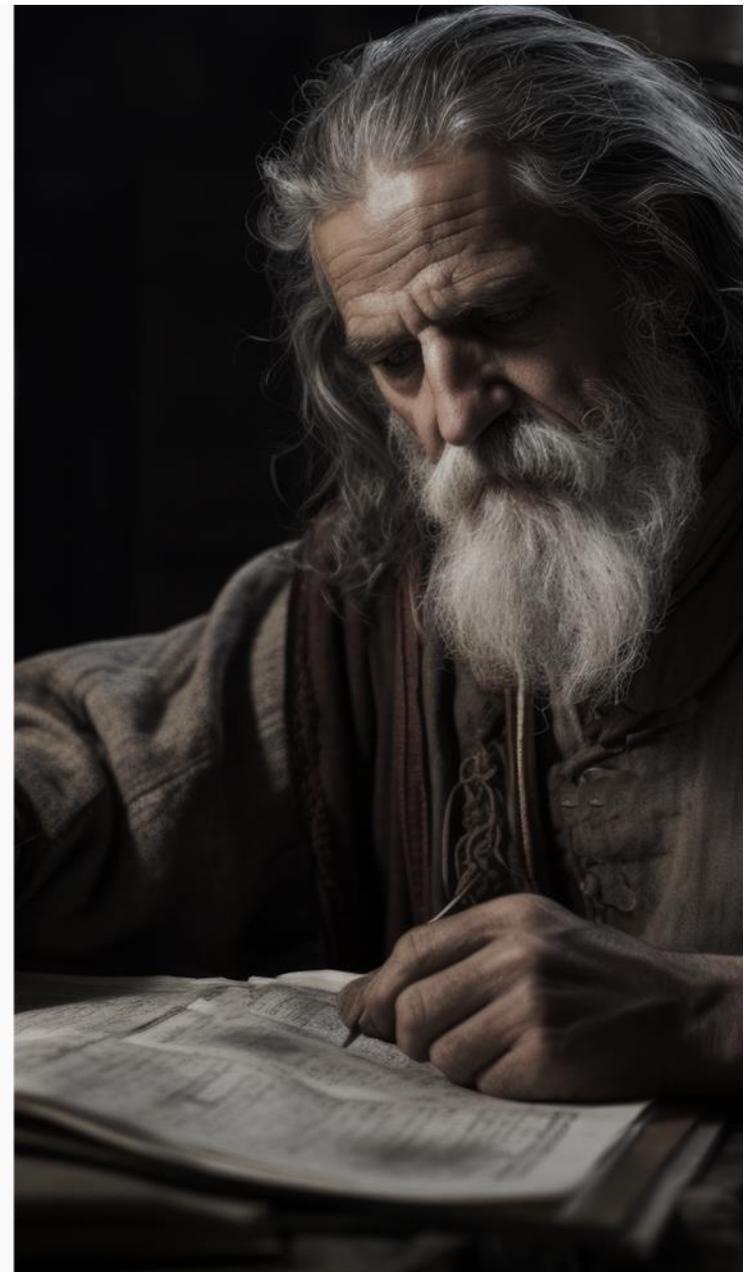
私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないように\*なるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなしてください方、義なるイエス・キリストがおられます。

\*完全に実現するのは、栄化の時

➡繰り返している罪がないか？

■栄化に向かい、成長が求められる信仰者。

➡キリストのとりなしが絶対に不可欠!!



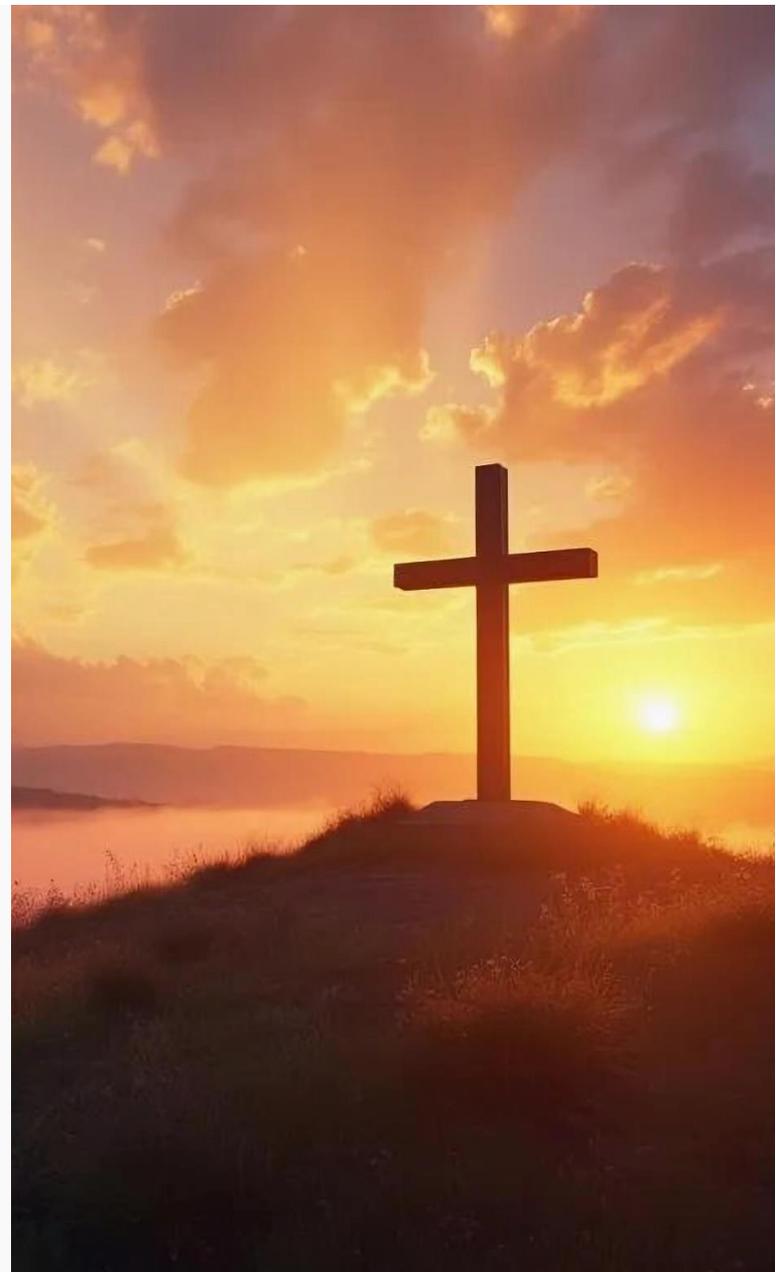
## 宣告 世全体の罪のために | ヨハネ2:2

この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。

■主イエスの贖いは、全人類のためのもの。

➔だからこそ、受けるか、拒むか。

その結果は、誰も免れない。



## 啓発 偽りか真理か | ヨハネ2:3~4

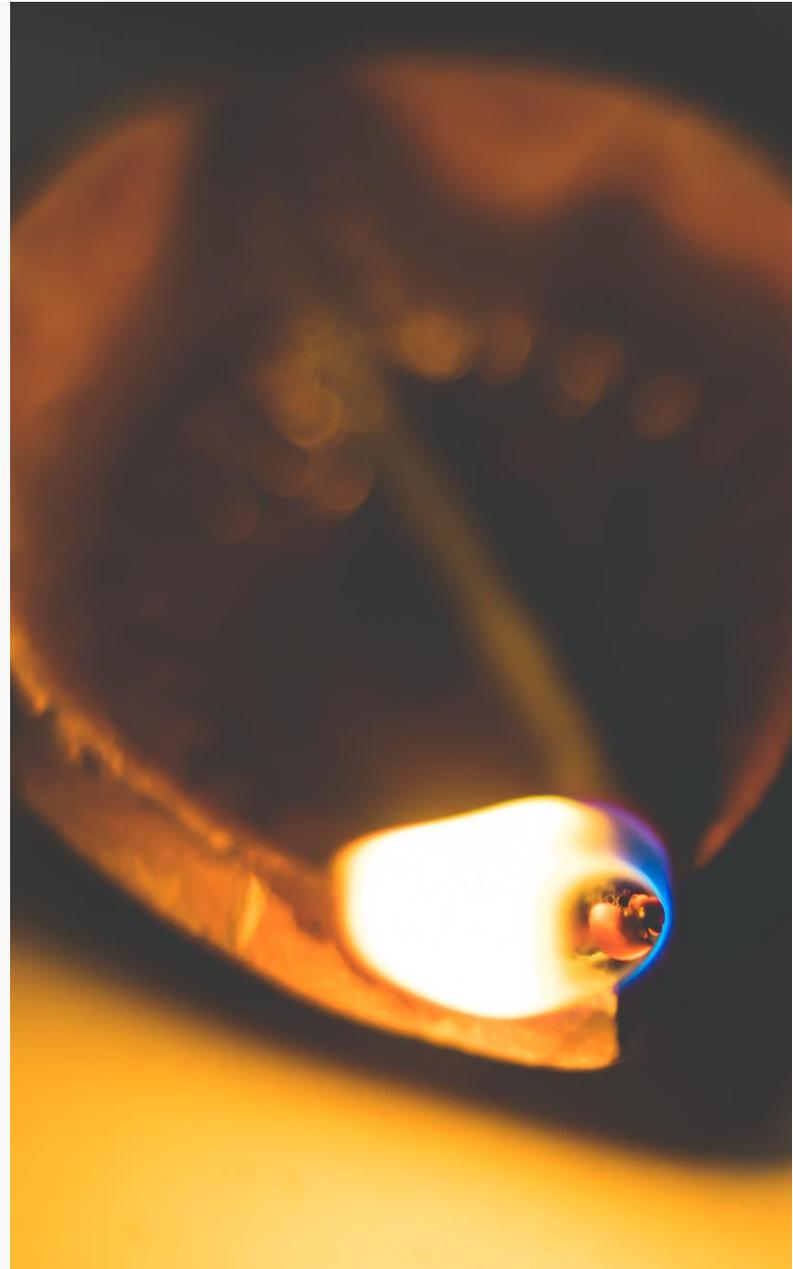
もし私たちが神の命令を守っているなら、それによって、自分が神を知っている\*ことが分かります。神を知っていると言いながら、その命令を守っていない人\*は、偽り者であり、その人のうちに真理\*はありません。

\*体験的に、霊肉で知る。

\*いかにも信仰者的な言葉を口にしながら、行いが伴っていない。

→偽善者。偽信者。聖霊の内住もない

\*真理をもたらすのは、聖霊(ヨハネ16:13)



## 啓発 神のことば | ヨハネ2:5~6

しかし、だれでも**神のことば**を守っているなら、その人のうちには神の愛が確かに全うされているのです。それによって、自分が神のうちにいることが分かります。神のうちにとどまっていると言う人は、自分もイエスが歩まれたように歩まなければなりません。

- 主イエスは、完全に**神の言葉**を守られた。
- 神の内にいるという実感は、**神の言葉**を守って歩むただ中でこそ、与えられる。



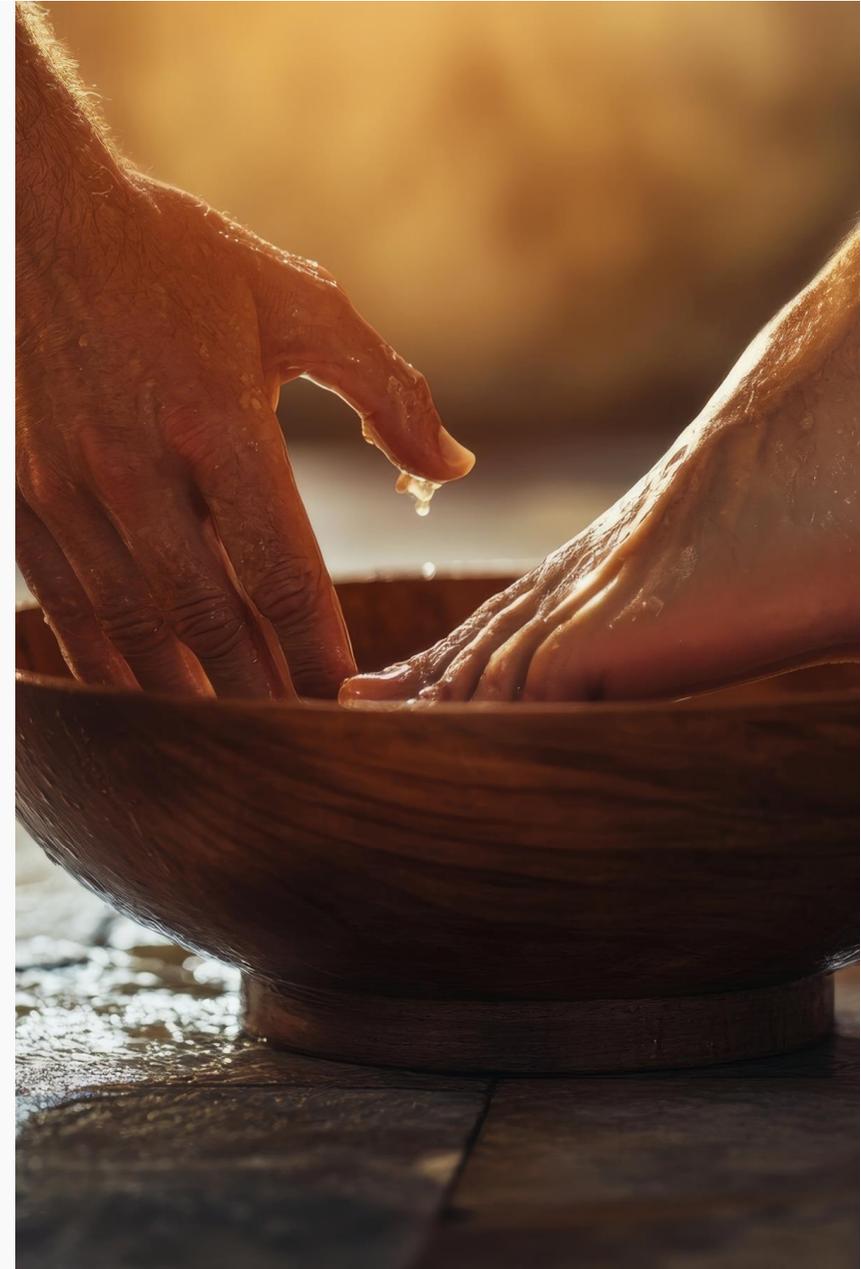
## 啓発

## 古い命令 | ヨハネ2:7

愛する者たち。私があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、**あなたがたが初めから持っていた古い命令\***です。その古い命令とは、**あなたがたがすでに聞いているみことば\***です。

\*最初に聞いた、神の御言葉

■ヨハネが伝えようとしているのは、新しいことではなく、すでに聞いたこと



# 互いに愛し合いなさい

## ■ヨハネ福音書 13:34

わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。

互いに愛し合いなさい。

わたしがあなたがたを愛したように、  
あなたがたも互いに愛し合いなさい。

## 啓発 古くて新しい命令 | ヨハネ2:8

私は、それを新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているのです。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。闇が消え去り、まことの光\*がすでに輝いているからです。

\*主イエス・キリストの栄光



# 真理を行う者は、神の光に向かう

## ■ヨハネ福音書3:20～21

悪を行う者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。

しかし、真理を行う者は、その行いが神にあってなされたことが明らかにになるように、光の方に来る。



## II. 愛か憎しみか

ヨハネの手紙第一 2:9~11

## 啓発

## 兄弟への愛 | ヨハネ2:9~10

光の中にいると言いながら自分の兄弟\*を憎んでいる\*人は、今でもまだ闇の中にいるのです。

自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

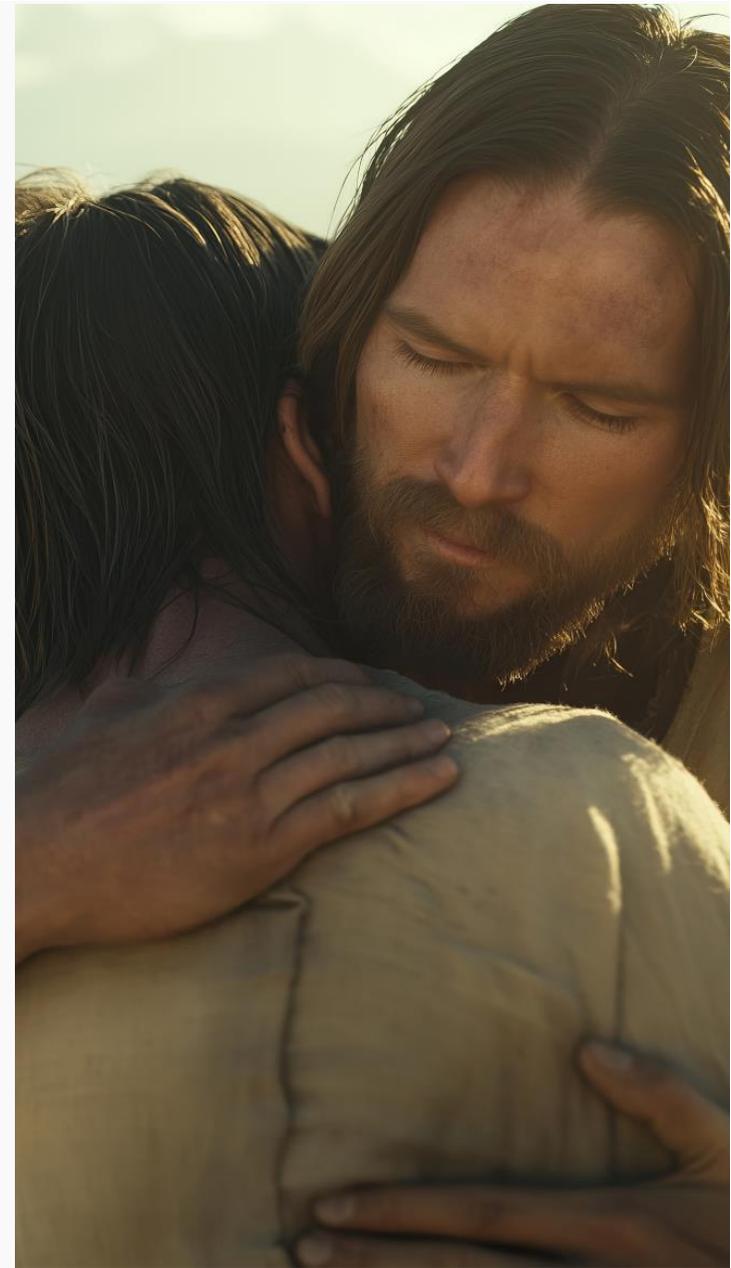
\*信仰の兄弟姉妹

\*憎む→拒絶 無関心は無意識の緩慢な拒絶

■愛するとは、他者に関心を持つことから。

→具体的に関係性を持って歩んでいるか。

■「人につまずいた」と安易に言うのは…?!



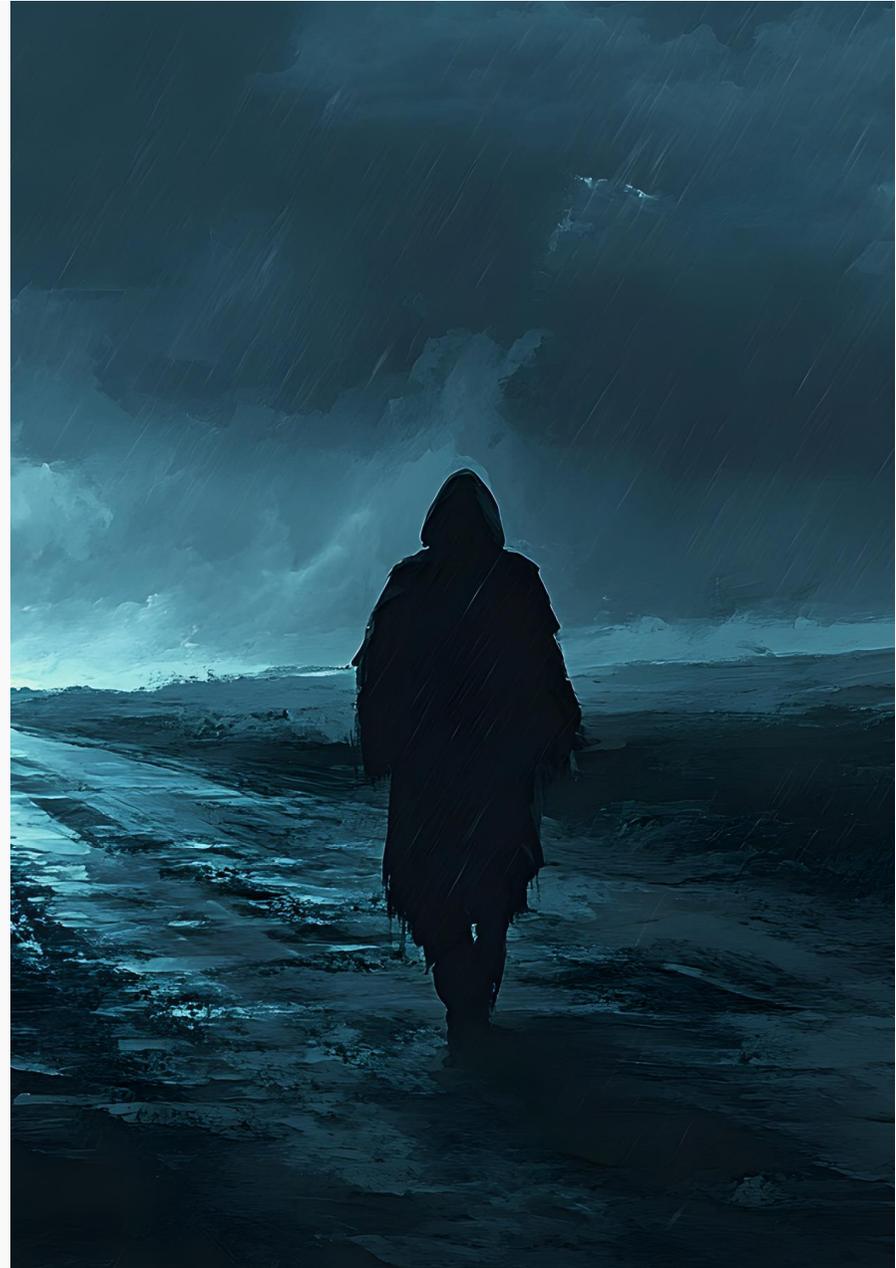
## 啓発 闇を歩む者 | ヨハネ2:11

しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目を見えなくしたからです。

■ 神の拒絶 = 悪の受容

→ 光か闇か、どちらかしかない

■ 憎しみは、主の光から目を閉ざさせ、さらに深い闇へと追い落としていく。





## II. 執筆の根拠

ヨハネの手紙第一 2:11～14

## 啓発 罪の赦しのゆえに | ヨハネ2:12

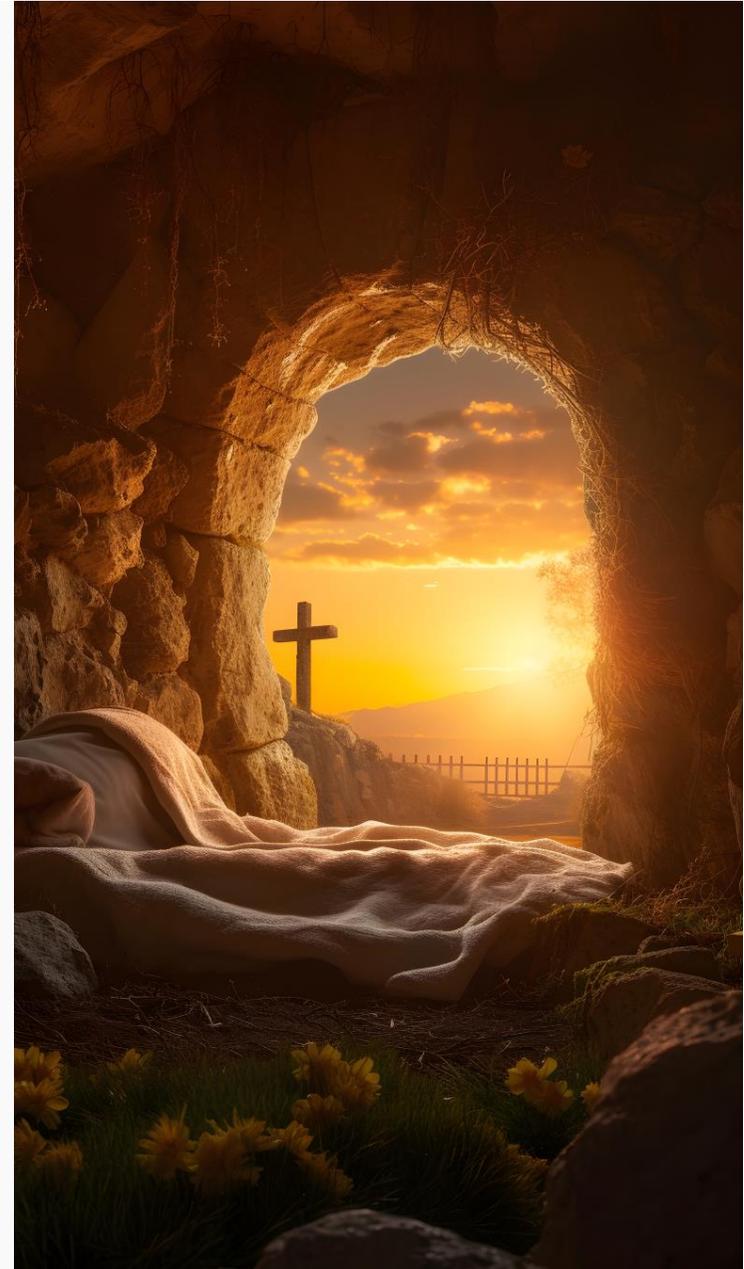
子どもたち\*。私があなたがたに書いているのは、イエスの名によって、**あなたがたの罪が赦された**からです。

\*信じて間もない霊的幼子

【ヨハネの執筆理由その一】

「あなたがたの罪が赦されたから」

- 福音を信じて、罪が赦された者同士が、主にある家族、兄弟姉妹とされた。
- 救いを得ることが、信者の交わりの始まり



## 啓発 **すでになったこと** | ヨハネ2:13

父たち。私があなたがたに書いているのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。若者たち\*。私があなたがたに書いているのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

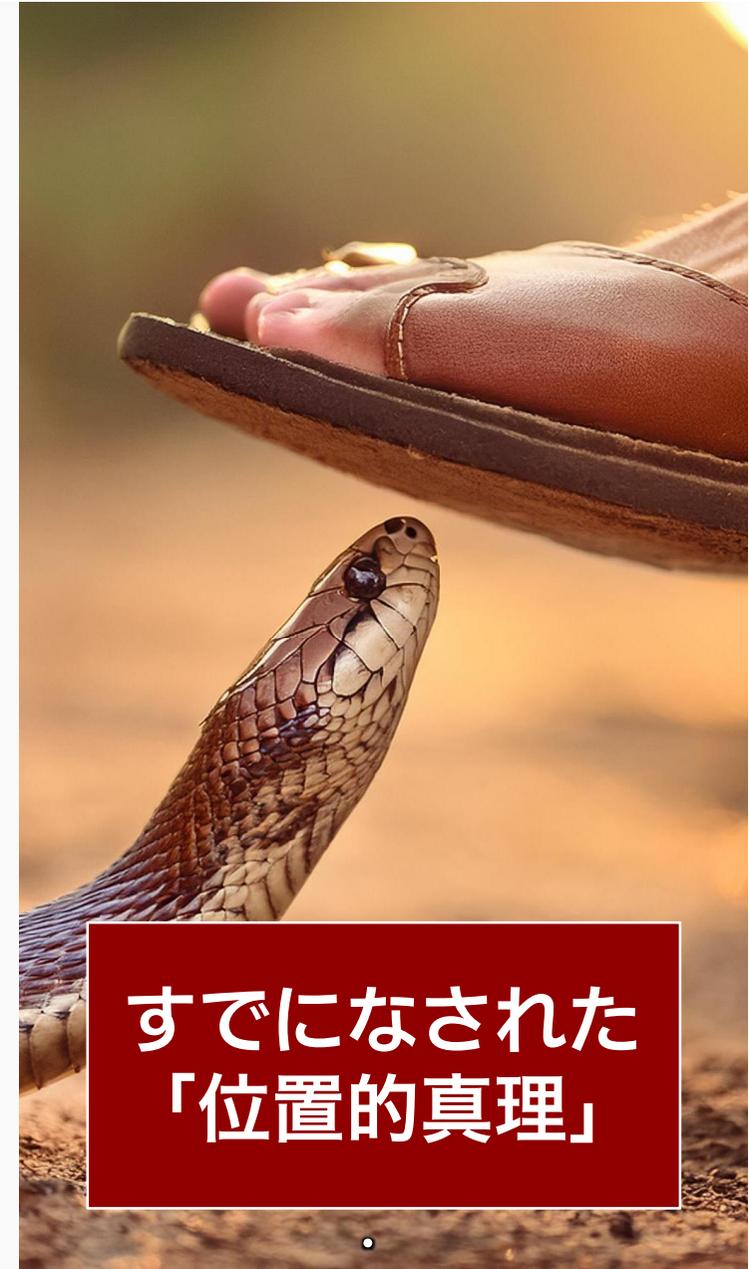
\* 霊的成熟者   \* 霊的成長の途上にある者

【執筆理由その二、三】

「初めからおられる方を知るようになった」

「あなたがたが悪い者に打ち勝った」

■ いずれも信じた時に起こったこと。



すでになされた  
「位置的真理」

啓発

知ったからこそ | ヨハネ2:14a

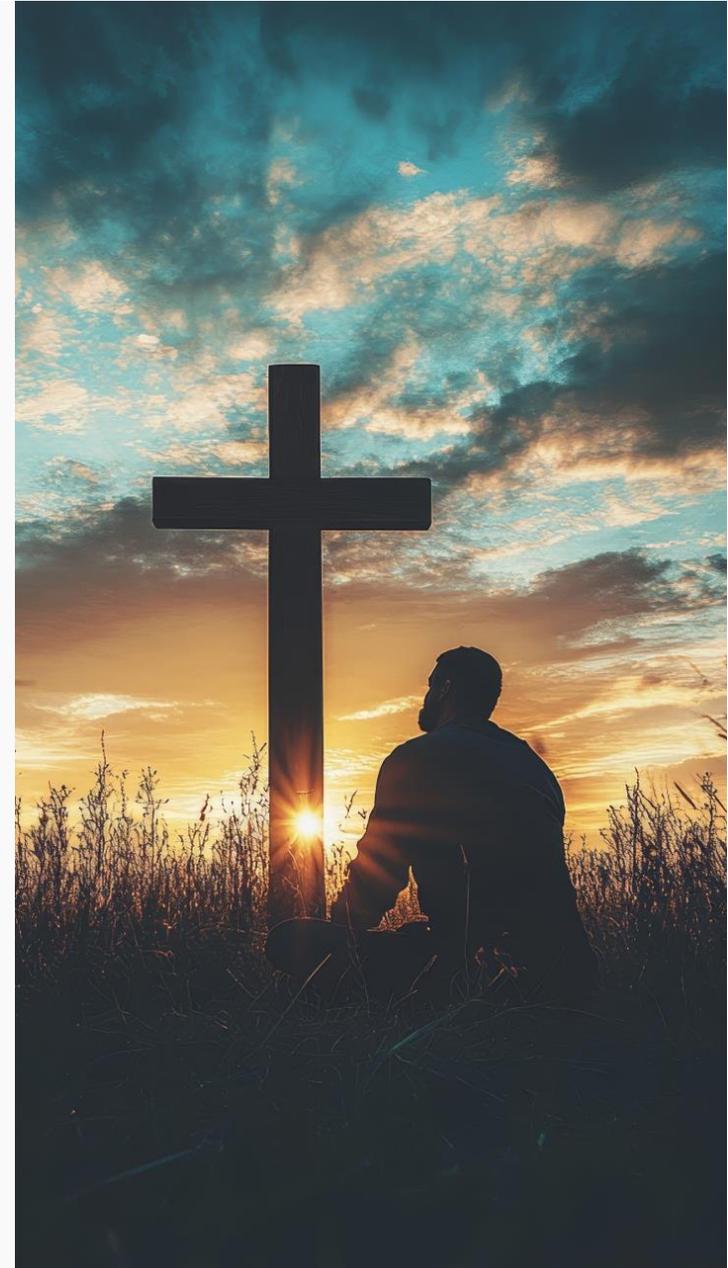
幼子たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが御父を知るようになったからです。父たち。私があなたがたに書いてきたのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。

【執筆理由その四、五(二の繰り返し)】

「御父を知るようになった」

「初めからおられる方を知るようになった」

■福音を信じて、主と一つにされた



## 啓発 信仰者の自己認識 | ヨハネ2:14b

若者たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが強い者であり、あなたがたのうちに神のことばがとどまり、悪い者に打ち勝ったからです。

【執筆理由その六、七、八(三の繰り返し)】

「強い者である」

「神のことばがとどまる」

「悪い者に打ち勝った」

■主の目には、そう見えている!!



すでになったことの  
確信を深めるのが  
信仰者の成長の過程



### Ⅲ. まとめと適用

血を流し、通わされた 主イエスの愛

## 主の道を歩んでいるか？

- 使徒の手紙の第一の目的は、信仰の成長・**聖化**の促し。
  - ➔ 主の命令、神のことばを守り、主イエスの道を歩むこと
- 繰り返している罪がないか。悔い改めて、歩んでいるか。
- ただ福音を信じる、信仰により恵みによって、救われた。この信仰と恵みの内に、とどまり続けているのかどうか。

いつでも問われるのは、信じ続けていく、**聖化の道**

## 問われる信仰の兄弟姉妹の関係性

- 神は人となられ、顔と顔をあわせて人を愛された。
  - ➔ 愛は、具体的な関係性の中でこそ生まれ、現される
- 信仰の兄弟姉妹と、顔と顔をあわせた関係性を育てているか。
- 主イエスが愛して、受け止めてくださったように、互いを受け入れあって、互いに愛を育てているか。

**えり好みは愛ではない。主が与えられた関係の中で愛を育もう**

# 主がなされた恵みを確認しよう

■ ヨハネが繰り返し確認する執筆理由

① あなたの罪は赦された

② あなたは神を知った。

③ あなたは悪に打ち勝った。

■ 福音を信じて救われた瞬間、すでに起こったこと。

➔ 神の言葉に信頼し、神と人との愛の関係性の中で、救いの確信を深めていくよう、促されている。

## ★ 血を流され、通わされた 主イエスの愛 ★

■ 主の命令の中心は、神を愛し、人を愛すること。

信仰者は、兄弟姉妹との愛の関係性を育むことを求められる。

■ 人となり、十字架で死なれ、葬られ、復活された主イエスの愛。

真実の愛とは血を流すこと。愛の交わりとは血を通わすこと。

■ 血肉を伴った交わりが、聖書が「知る」ということに他ならない。

主の愛の上に、互いに愛し合う関係性を育んでいこう

てん とう  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたしの罪は赦され、私は主を知り、悪に打ち勝ちました。

主の愛の内に、主を愛し、兄弟姉妹を愛する道を歩みます。

すでになされた、救いの確信を深めて行くことができますように。

御霊に満たされ、主の愛の香りを放つ者として遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」